

政策シート (政策名) 緑化推進・緑地保全

(予算費目名) 緑化推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	368,821	310,149	340,946
決算	357,241	298,283	
人件費(A)	126,200	122,000	121,200
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	483,441	420,283	462,146

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
フラワーパーク入園者数	人	540,000	目標	360,000	460,000	470,000
			実績	484,356	470,646	
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	20,000	目標	11,000	11,500	12,000
			実績	11,575	11,603	
保全が担保される緑地の面積	ha	240	目標	84	100	125
			実績	84	84.3	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進めた。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

- ・ 館山寺総合公園運営事業については、浜名湖花フェスタの開催やフジ棚の拡幅など魅力ある花の演出により多くの入園者が訪れ、目標を大きく上回る予想である。更なる入園者の増加を目指すため、魅力ある施設整備やイベントの開催を進める必要がある。
- ・ 花づくりに関連するボランティアの参加人数も各種支援を行ったことにより、順調に増加しており、市民協働による「花と緑のまち」が推進されている。
- ・ 緑地保全を市民協働で進めるために、高林住吉地区において、ワークショップを実施し、保全計画を作成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	緑化推進センター運営事業					53,920	49,020	0.7				
2	館山寺総合公園運営事業	○	○	○		163,625	156,625	1.0				
3	緑化推進事業					8,400		1.2				
4	花と緑のまち・浜松推進事業					102,089	76,189	3.7				
5	緑地保全事業					57,078	31,078	2.8	1.0		1.0	
6	緑の基本計画策定事業					14,056	6,076	1.1			0.1	
7	市街化区域内農地緑化保全事業					13,801	8,201	0.8				
8	都市計画公園見直し事業					9,720	4,120	0.8				
9	花と緑の基金積立金					2,400	1,000	0.2				
10	緑化推進運営経費					37,057	8,637	3.7			0.9	
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						462,146	340,946	16.0	1.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 緑化推進センター運営事業

◇事業目的・事業対象

市民の“みどり”に関する意識の高揚、知識や技能を高める緑化活動拠点として、フラワーアレンジメント、生垣の作り方、剪定の仕方などの各種講座を開催し、緑の普及啓発活動を行う。また、県内唯一の都市緑化植物園として緑の相談所を開設し、質の高い市民サービスの提供を行う。

◇事業の概要

- ・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」などのイベントを市民協働で行うことにより交流を深め、緑化推進拠点の充実を図る。
- ・水辺を利用した環境学習を通してみどりの大切さを広める。
- ・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	—	一般会計	自治事務		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	30,709	34,025	49,020
	決算	30,707	32,781	
	国・県支出			
	市債			
	その他	12	12	809
	一般財源	30,695	32,769	48,211
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600	2,100	4,900
人工	正規	0.8	0.3	0.7
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
講座・講習会への参加人数(人) ※イベント、即売会を除く						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	4,500	4,550	4,650	4,700	4,750	5,000
実績値	3,768	4,606				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
 ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
 ・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」などのイベントを市民協働で行うことにより交流を深め、緑化推進拠点の充実を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・都市緑化植物園の機能として「緑の相談所」の情報発信を積極的に行なうとともに、展示即売会や各種イベントの開催などにより、入場者数は増加した。平成28年度は講座や講習会の回数を増やした結果、総参加者数は目標値に達した。
 ・管理棟や園内施設の老朽箇所の改修を進めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・花と緑のまち・浜松を推進する拠点施設として、ホームページなど様々な媒体による情報発信をしたことで、イベント等の入場者数が増加した。一方、講座や講習会の参加者数は目標値に達しなかったため、今後もアンケート等により市民ニーズを的確に把握し、人気講座の拡大や新規講座の立ち上げを積極的に行うことで、参加者数の増加を見込む。
 ・施設の老朽化については、施設利用者等の要望を踏まえ、長期展望のもと対応策を検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成29年度から平成32年度(5年間)を新たな指定管理期間に設定する。
 ・新たな指定管理期間については、豊岡苗圃の機能(樹木交付)を緑化推進センターに集約し、緑化推進の拠点機能を統合により強化する(平成28年度交付数2,316本(風致地区2,316本、緑地協定0本))。
 ・施設全体の再生計画を検討し老朽箇所の改修を進める。

事業シート (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.96】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理し、効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるように、老朽化した施設の改修を随時実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	217,102	144,065	156,625
	決算	215,739	141,504	
	国・県支出	29,000		5,000
	市債	28,900		
	その他	139	28,139	9,139
	一般財源	157,700	113,365	142,486
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	6,300	7,000
人工	正規	1.2	0.9	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
フラワーパーク入園者数(人)				-		96
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	360,000	460,000	470,000	480,000	490,000	540,000
実績値	484,356	470,646				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
観光交流客数(千人/年)				Ⅲ-2(2)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,400	21,500	22,600	23,700	24,800
実績値	18,276	(H29.9確定)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.96】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理し、効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、老朽化した施設の改修を随時実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・将来的な安定集客を図るため、引き続き浜名湖花フェスタの主会場として50万球のチューリップと1,300本の桜による「世界一美しい桜とチューリップの庭園」と銘打った演出やフジ棚の拡幅などを行い、魅力ある花と緑の空間を提供した。また、夜桜やフラワー・イルミネーションなど夜間開催の広報を精力的に行った結果多くの来園者を数え、目標を上回る47万人の来園者数となった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・浜名湖花フェスタの花のメイン会場となるフラワーパークでは、早春の梅からハナショウブに至る花のリレーを展開するなど、浜名湖観光圏の参加施設と連携して事業を行った。
- ・来園者が安全で快適に過ごせるよう、案内看板の交換やフェンスなど老朽化施設の改修を行った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 改修・更新 事業費 拡大 人工 現状

- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・平成32年に迎える開園50周年に向け、財団と調整を図りながらハード面及びソフト面の検討、整備を行う。
- ・浜名湖花フェスタ終了後の7月以降は、花の演出が乏しく客足が鈍る。このため、引き続き花による誘客ができるよう打開策を検討する。
- ・変動料金制や無料期間など入園料の設定について市民に浸透させることにより、若年層の来園を促進する。

平成29年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 02

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
96	浜名湖花フェスタの開催 3/21～6/15	浜名湖花フェスタの開催 3/19～6/12	浜名湖花フェスタの開催 3/18～6/11	
96	虹のフジのトンネル整備 ・施設整備は27年度実 施 ・フジの生育により見ご ろには概ね5年程度必要 となる	虹のフジのトンネル整備 ・フジの生育により見ご ろには概ね4年程度必要 となる	虹のフジのトンネル整備 ・フジの生育により見ご ろには概ね3年程度必要 となる	

平成29年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 02

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 舘山寺総合公園運営事業

◇取組概要

花と緑をテーマとした観光拠点として、将来的な安定集客を目指し、来園者に対しておもてなしの空間を演出するとともに園の魅力向上に努めるなど、将来まで持続可能な施設運営を図る浜松市花みどり振興財団の取組みを支援する。

◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4001-12

取組事項名 (公財)浜松市花みどり振興財団の経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 緑化推進事業

◇事業目的・事業対象

民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

◇事業の概要

工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S51	-	一般会計	自治事務	緑の保全及び育成条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	6,996	6,430	
	決算	5,441	6,366	
	国・県支出			
	市債			
	その他	908	912	
	一般財源	4,533	5,454	
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		13,380	9,500	8,400
人工	正規	1.5	1.1	1.2
	再任用(h31)	0.8	0.5	
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業所緑化指導数(件/年)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	120	80	80	80	80	80
実績値	114	79				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民との協働で進める「花とみどりのまちづくり」において、事業者自らが緑化に取り組もうとする契機として推進を後押しする啓発の意味を持ち、有効な取組みとして指導していく。
- ・事業所等緑化協議 77件

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・風致地区における住宅の新築増築に対し、必要な緑化樹木を交付した。
- ・事業所等敷地内緑化指導については、工場立地法準則と合わせ、要綱を見直し、緑地率の規制を緩和した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・豊岡苗圃で実施していた樹木交付の機能を緑化推進センターへ移管し、豊岡苗圃は平成28年度末をもって閉鎖・解体する。
- ・事業所等敷地内緑化指導については、社会状況を考慮し、要綱を改正しながら適性を実施する。

事業シート (事業名) 花と緑のまち・浜松推進事業

◇事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて花と緑に親しむ市民を増やし、「花と緑のまち・浜松」を推進する。

◇事業の概要

- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイクカルチャーに関連した市民制作講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31		一般会計	自治事務		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	67,660	73,972	76,189
	決算	65,019	69,426	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	65,019	69,426	76,189
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		30,800	25,900	25,900
人工	正規	4.4	3.7	3.7
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
花づくりに関連するボランティア参加者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	11,000	11,500	12,000	12,500	13,000	15,500
実績値	11,575	11,603				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
企業展示花壇設置数(対象箇所に対する企業展示割合%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	35	40	45	50	50	50
実績値	36	34				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
 ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
 ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
 ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
 ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
 ・JR浜松駅前のモザイカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイカルチャーに関連した市民制作講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・「花と緑の祭」や「花と緑のコンクール」の開催、浜松駅前等拠点花壇整備、モザイカルチャーによるシンボル装飾などを通じて、花と緑にふれあう機会の創出を図ることにより、市民の花と緑への造詣を深めることができています。
 ・各種支援を行うことにより、花の会や市民団体、企業展示花壇等を通じて、市民協働による「花と緑のまち」が推進されており、花と緑に関するボランティア数も順調に増加し、目標値の11,000人を超える11,575人の参加を数えた。
 ・企業展示花壇については、1企業が展示終了したため17か所から14箇所へ減少した(平成29年度からは21箇所に増加する予定)。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・年3回の鍛冶町通りの植替えを市民協働で行うことで、業務委託費の削減ができた。
 ・花と緑の祭は、駐車場整理など一部業務を職員から外部委託に切り替え、応援職員の削減を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているため、申請に対し6割くらいの交付しかできない。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を含めて、要綱の見直しを行う。
 ・まちなかにある拠点花壇のエリアを再検討し、事業の効率化を図る。
 ・企業展示花壇の協力企業をさらに増加させる。

事業シート (事業名) 緑地保全事業

◇事業目的・事業対象

特別緑地保全地区や市民の森、保存樹木・保存樹林を指定するとともに、協働により適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。

◇事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)に対し維持管理として報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹木のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者に対し、維持管費として報償金を交付する。
- ・市民の森(高林住吉)では、市民協働による維持管理を行うための保全方針を作成するとともに、その他の市民の森に対して市民活動を啓発させるためのPRを行う。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52		一般会計	自治事務	都市計画法、静岡県立自然公園条例、緑の保全及び育成条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	27,936	28,674	31,078
	決算	25,751	27,733	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	25,751	27,733	31,078
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		23,920	30,600	26,000
人工	正規	2.8	3.6	2.8
	再任用(h31)	1.2	1.5	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
保全が担保される緑地の面積(ha)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	84	100	125	150		240
実績値	84	84				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)に対し維持管理として報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹木のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者に対し、維持管費として報償金を交付する。
- ・市民の森(高林住吉)では、市民協働による維持管理を行うための保全方針を作成するとともに、その他の市民の森に対して市民活動を啓発させるためのPRを行う。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

環境の基盤・骨格を形成する緑地については、緑地の存続、永続性の担保を図るため、平成27年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地の見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の方針(案)の道筋を示した。

優先地区 Aランク地区(富塚小藪 11.7ha、高林住吉 8.3ha、富塚西小周辺 11.2ha、幸住吉 1.6ha、富塚東 3.7ha、和合・富塚 3.0ha、富塚北 1.1ha、遠州山野辺の道 191.8ha)

〈緑地指定状況：H28年度末〉

- ・景観重要樹木 1本、保存樹木 58本、保存樹林 75箇所42.6ha、市民の森 35.0ha、・特別緑地保全地区 6.7ha
- ・保存樹林などの指定は微増、市民の森が微減となり指標となる面積は変更なし。
- ・計画初期段階において人材育成に時間を要するため、計画より遅れている。
- ・先行モデルとなる高林住吉地区の動向によっては目標計画を変更する必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 収集・分析 / 事業費 現状 人工 現状

- ・市民の森や保存樹林・保存樹木の地権者に対し、維持管理費用を交付した。
- ・地域緑地見直し計画に基づき、計画的に緑地保全や保存樹木樹林の指定や風致地区の見直しを検討した。
- ・平成28年度は高林住吉地区を先行モデルとして保全方針の作成するなど、協働の取り組みを推進した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 収集・分析 事業費 拡大 人工 拡大

- ・緑地の維持管理は、地権者の負担が大きくなっており、交付する費用だけでは対応しきれない。
- ・今後は、地権者だけに任せるのではなく、地域住民などが協働で維持管理できるしくみを構築し、自主的な活動を定着化させる。
- ・平成29年度は高林住吉地区において、運営組織、人材発掘など市民活動醸成を推進する。
- ・ナラ枯れによる被害の深刻化しているため、被害状況の把握と対応について検討する。

事業シート (事業名) 緑の基本計画策定事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の緑の将来像、目標、施策などを定めることにより、緑地の保全及び緑化の推進を総合的、計画的に実施する。

◇事業の概要

・浜松市総合計画における個別計画に位置付けられている「緑の基本計画」の見直しを図る(現計画はH22～H31年度)
 ・「緑の基本計画」は、浜松市の将来像、目標、施策などを定めることにより、緑地の保全及び緑化の推進を総合的・計画的に実施するための基本計画である。
 ・計画策定に向けた基礎資料を作成するための緑被状況等の現況調査、調査等の結果に基づく計画(案)作成、市民フォーラムやパブリックコメントの実施を経て、平成31年度末に次期基本計画の公表を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	H31	一般会計	自治事務	都市緑地法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			6,076
	決算			
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源			6,076
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				7,980
人工	正規			1.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
「緑の基本計画」の策定						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値		策定方針の作成	現況調査	計画(案)策定	市民フォーラム・パブリックコメント	
実績値		策定方針の作成				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 市街化区域内農地緑化保全事業

◇事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園(いきいき菜園)の開設を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

◇事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として開設し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	7,033	7,100	8,201
	決算	6,190	5,662	
	国・県支出			
	市債			
	その他	1,852	1,833	1,872
	一般財源	4,338	3,829	6,329
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600	5,600	5,600
人工	正規	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市街化区域内の農地に対する生産緑地と市民農園の割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	7	8	10		30
実績値	5	5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として開設し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ＜特定市民農園の設置＞市街化区域内の中学校区に概ね1箇所 計25箇所を目標として開設する。
- ・H20 4箇所(楊子 篠原 三ヶ日 文丘) 70区画 4,672m² ・H21 4箇所(入野 小豆餅 染地台 鴨江)52区画 4,081m²
 - ・H22 3箇所(北島、楊子第二、横須賀)40区画 3,244m² ・H23 北島の区画増設 15区画 総計177区画 11,997m²
 - ・H26 北島の区画増設 1区画 総計178区画 11,997m²
- ＜菜園栽培講座＞19回開催

＜生産緑地の指定状況＞ 140箇所 17.6ha

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民農園(いきいき菜園)を利用者に開放するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
- ・生産緑地として指定した農地が適正に営農されているか確認した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市街化区域内農地は既に宅地並みの課税水準に達している。開設11箇所については、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでおり、市民農園以外の目的へ転用される恐れがないことから、所期の目的は達成されていると認められるため、今後は市民農園を積極的に拡大しない方向で検討する。
- ・立地適正化計画の進捗と合わせて、生産緑地の指定基準の見直しを検討する。

事業シート (事業名) 都市計画公園見直し事業

◇事業目的・事業対象

人口減少の将来を見据えて、長期未着手の都市計画公園区域を見直し、都市計画法上の規制を取り除く。

◇事業の概要

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進める。
- ・都市計画の変更に向けた地元説明会を開催する。

【参考】

H23: 都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。
H24: 市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。
H25: 「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。
H26: 方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務	都市計画法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	4,130	8,430	4,120
	決算	3,132	8,184	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,132	8,184	4,120
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600	5,600	5,600
人工	正規	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
都市計画公園等の変更(減少)面積(ha)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	11	8	142		156
実績値	27	0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進めるため課題整理と補完資料作成を行った。

【参考】

H23: 都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。
H24: 市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。
H25: 「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。
H26: 方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・平成26年度 「浜松市都市計画公園の見直し計画」を策定・公表。都市計画変更の第1期分として、同じく都市計画変更を検討している都市計画道路に接する都市計画公園12箇所の都市計画変更手続きに着手。(地元説明会9回)
- ・平成27年度は、都市計画公園8箇所、都市計画緑地1箇所の都市計画変更手続きを完了。
- ・平成28年度は、公園見直し計画の中で不足していた広域的な視点における適正配置の検証を優先的に行うこととし、都市計画変更手続きを見送った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成27年度は、同じく都市計画変更を進める都市計画道路に接する公園緑地9施設を見直した。
- ・平成28年度は、公園見直し計画の中で不足していた広域的な視点における適正配置の検証を優先的に行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後も「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、住民説明会や都市計画原案の縦覧、公聴会等において、市民や土地所有者との合意形成を図り、概ね平成31年度までに都市計画変更手続きを進める。

事業シート (事業名) 花と緑の基金積立金

◇事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

◇事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,025	1,000	1,000
	決算	274	240	
	国・県支出			
	市債			
	その他	274	240	1,000
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
花と緑の基金に寄せられた寄附金(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000		1,000
実績値	250	240				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基金を適正に管理した。
- ・平成28年度末残高＝287,978,587円

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・継続して基金を適正に管理する。
- ・宅地開発など貴重な緑が破壊されようとした場合、本基金が活用して緑地を保全できるしきみを検討する。

事業シート (事業名) 緑化推進運営経費

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	6,230	6,453	8,637
	決算	4,988	6,387	
	国・県支出			
	市債			
	その他		2	2
	一般財源	4,988	6,385	8,635
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		31,500	35,000	28,420
人工	正規	4.5	4.6	3.7
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤		1.0	0.9

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工